

# 代表 質問

3月5日の本会議において、所属議員が多い会派から順番に、各会派の発言者が市長の施政方針に対する代表質問を行いました。

ここでは、主な質問と答弁の要旨を掲載しています。

なお、令和7年度の施政方針の内容と、施政方針に対する代表質問項目は、下記をご覧ください。



▲施政方針



▲代表質問項目

## 大阪維新の会高槻市議会議員団

### 希望あふれる高槻を 次世代へ引き継ぐため 未来を見据えたまちづくりを！

江沢 よし ※竹中	きもとゆう 田村のり子	木山ユウ子 山崎麻里子	鈴木りゅういち 吉田 稔弘 ※は発言者
--------------	----------------	----------------	---------------------------

#### 災害関連死ゼロに向けた 今後の対策は

議員 在宅避難者への対策は実態把握や支援物資の供給、車中泊避難対応など課題が山積していますが、災害関連死ゼロの高槻に向けて、市長の見解と今後の対策について伺います。

市長 災害対策基本法等の一部を改正する法律案には、被災者に対する福祉的

#### 市営バス事業 運転士の育成や確保は

支援等の充実が盛り込まれているほか、大阪府では避難所外避難者を含んだ避難所運営マニュアル作成指針の改定が予定されています。本市としても、分散避難などの避難所外避難者への対策を検討するとともに、必要となる備蓄物資の保管場所や財源確保の課題については国や府にさらなる支援の拡充を要望するなど、国土強靱化地域計画の基本目標の一つである、人命の保護が最大限図られることの達成に向け、対策のさらなる充実に努めていきます。

議員 市営バス事業について、不採算路線や生活路線等に対する考え方と、災害時等における弾力的な運行について見解を伺います。また、バス運転士の育成や確保が重要と考えますが、現状と、新たな手法を検討されるのか伺います。

市長 独立採算を原則とする公営企業として、安定した経営を図る観点から、



▲適切な交通手段の導入等を進める山間地域

利用状況に応じたダイヤ編成や山間地域における適切な交通手段の導入等を進めるとともに、公共の福祉を増進させる観点から他の様々な行政施策と連携していきます。また、災害時には避難所までの移動手段としての役割を担っています。全国的な運転士不足の状況にあって、その育成及び確保は非常に重要であると考えています。令和7年度は従来どおりのバス運転士の採用のほか、大型二種免許未取得者を対象とした採用活動に取り組みます。